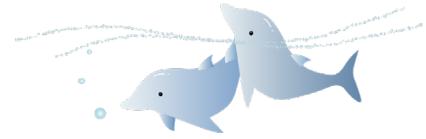




最近、ホッと一息、ついてますか？



いよいよ夏休みですね。みなさん、いかがお過ごしですか？

ようやく前期の試験やレポートが終わり、開放感を味わっているのでしょうか？夏休みにしたいことをあれこれ考えて、わくわくしているかもしれませんね。アルバイトやサークルに精を出す人、旅行の計画を立てている人、久しぶりに帰省してのんびり過ごす人・・・それぞれに思い思いの夏休みを過ごすことと思います。せっかくの夏休みですから、普段できないことにチャレンジするなど、充実した夏休みを過ごしてくださいね。

～SOGI ハラって何？～

さて、前回の学生相談室だより(2022 年度春号)では、SOGI についてご紹介しました(もしご覧になっていない方は、そちらも読んでみてくださいね)。今回は、“SOGI ハラ”について、です。

“SOGI ハラ”とは、SOGI に関するハラスメントのこと。つまり、自分の性をどのように認識しているか、またどの性別の人を好きなのか、といったことに関連して、嫌がらせを受けたり、不利益を被ったりすることを指します。

具体的には、次のようなことが挙げられています。

- 差別的な言動や嘲笑、差別的な呼称
(「男のくせに女の恰好するなんて変だよ」「ホモって気持ち悪いわ」)
- いじめ・暴力・無視
(「あの子レズだから友達付き合いやめようよ」「俺らまでホモだと思われるから、無視しよう」)
- 望まない性別での生活の強要
(「(戸籍上は)女の子なんだから、スカート履きなさい」)
- 不当な異動や解雇、不当な入学拒否や転校強制
(「男なのに女の恰好をして入社するなら、部署を異動してもらわないといけない」)
- 誰かの SOGI について許可なく公表すること(アウトティング)
(「あの子、レズビアンなんだって。知ってた?」)



みなさんは、「こんなハラスメントなんて、僕はしない」「私は大丈夫」と思うのでしょうか？それとも「あれ、もしかしてあれって SOGI ハラだったかも・・・」と思い当たることがありますか？

SOGI ハラに限らず、ハラスメントって自分ではそんなつもりはなくても、知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまっていた、ということが多いように思います。でも傷つけられた人からすれば、「悪気はなかった」から許せることではないですね。

まずは知り、理解すること、当たり前だと思っていることが本当に当たり前かどうか考えてみることで、そして自分や周りの言動が、セクシャルマイノリティの人を傷つけていないか省みること。私たち一人ひとりが意識し、行動することが大切だと思います。